

事務局／旭川市金星町1丁目1-52

☎(0166)22-2361

<http://www.kyoku-shi.com>

旭川歯科学院専門学校について

旭川歯科学院専門学校は旭川歯科医師会が設立する歯科衛生士を養成する専門学校です。本学は平成17年に3年制に移行しましたが、それ以降は常に国家試験合格率は100%、就職率も100%を誇り、求人倍率は6倍から8倍に達しています。

今月より3回に渡って **PART 1. 歯科衛生士の仕事について**

PART 2. 旭川歯科学院のセールスポイントについて

PART 3. これからの歯科衛生士のニーズについて

というテーマに添ってお話していきたいと思います。

●まずはPART 1. 歯科衛生士の仕事について

歯科衛生士は歯科助手と混同されることが多いですが、歯科医師のアシスタント業務だけを行う歯科助手とは違い、実際に患者さんに向き合って、予防処置（歯石除去、フッ素塗布など）や保健指導（歯磨き指導、摂食嚥下指導など）を行う仕事です。

歯科医師が虫歯や歯槽膿漏の治療のスペシャリストであるなら、歯科衛生士は『予防のスペシャリスト』なのです。そのためには旭川歯科学院のような歯科衛生士専門学校での3年間の修学の後、国家試験に合格し歯科衛生士の資格を取る必要があります。

少子高齢化の到来により歯科の診療スタイルも従来の治療中心から、予防重視に移行しつつあります。更に高齢者・障がい者に対する摂食嚥下指導など口腔ケアの分野でも、ますますその仕事の範囲が広がり、卒業後は歯科医院のみならず多方面での活躍が期待されます。

歯科医院に最低1人はいてほしい歯科衛生士ですが、現在の全国平均では0.9人と1医院に1人いない計算になります。歯科衛生士の資格さえもっていれば、引く手あまた。就職に困ることはないでしょう。結婚、育児等で退職して、再就職したいという時も、容易に再就職先を見つけることができます。また歯科衛生士の仕事は夜勤もなく、比較的規則正しい勤務時間で、短時間のパートも可能ですので、女性の方の一生の仕事としても最適だと思います。また近年男性で歯科衛生士を目指す方も増えています（旭川歯科学院でも2年生に1人在学中です）。こんな魅力的な職業『歯科衛生士』にあなたもトライしてみませんか。

さて来月はPART 2として旭川歯科学院のセールスポイントについてお話しします。

本年度もオープンキャンパスを実施します。

6月19日、7月24日、9月11日、10月16日の4日間です。

お電話にてお申し込み下さい。☎0166-61-1022

